

【ロシア】 「2025年までのクリル社会経済発展計画」の策定

海外立法情報課 小泉 悠

* ロシア政府は北方領土を含むクリル諸島の新たな総合開発計画を策定した。前計画と比べて予算をほぼ倍増させ、2025年までに北方領土におけるインフラのさらなる充実や人口の増加などを目標としている。

1 計画の概要

ロシアのメドヴェージェフ首相は、2015年8月4日政令第793号「連邦特定目的プログラム「2016年から2025年までのクリル諸島（サハリン州）における社会及び経済的発展」の承認について」に署名した（注1）。同政令は、北方領土を含むクリル諸島の2016年から2025年までの総合開発計画（以下「2025年までのクリル発展計画」という。）の内容及びその実施を承認するものである。

ロシア政府はこれまでも幾度か北方領土の開発計画を採択しているが、予算不足から大きな進展はなかった。しかし、プーチン政権下で2006年に策定された北方領土総合開発計画である「2007年から2015年までのクリル諸島（サハリン州）における社会及び経済的発展」（以下「2015年までのクリル発展計画」という。）には、279億ルーブル（約502億円）（注2）という多額の予算が投下され、北方領土におけるインフラ整備は大きく進展した。今回の「2025年までのクリル発展計画」は、その後継計画と位置付けられる。

計画の主管官庁には極東開発省が指定されており、総予算は10年間で689億2421万ルーブル（約1241億円）と倍以上になった。

「2025年までのクリル発展計画」は、「2015年までのクリル発展計画」と同様、連邦特定目的プログラム（FTsP）として策定されている。FTsPとは、ロシア政府の掲げる国家目標の中で特に重要なものについて策定される中期目標であり、計画期間中の各年度における所要予算や到達目標が具体的に規定される。したがって、「2025年までのクリル発展計画」の策定は、ロシア政府が北方領土のインフラ整備を重要な国家目標と位置付け、中期的な関与を継続していく意思を示したものと考えられる。

2 計画の特色

「2025年までのクリル発展計画」は、北方領土を含むクリル諸島の経済、インフラ及び社会分野を発展させ、現地の商業活動及び住民（大部分は北方領土に居住）の生活を保障することを目的としている。この目的を達成するため、輸送インフラの整備、投資環境の整備、中小ビジネスの支援、住民の居住環境の改善及び人的資本の調和ある発展を重点的に進めるとしている。

財源は、ロシア連邦政府予算、サハリン州予算、民間資本の3つが想定されている。出資額は、連邦政府が合計278億5268万ルーブル、サハリン州政府が317億3685万ルーブル、民間資本が93億3468万ルーブルとなっており、連邦政府よりもサハリン州政府によ

る負担が大きい。民間企業については、択捉島等で操業するサハリン州の水産企業「ギドロストロイ」等による出資が想定されていると見られる。

「2025年までのクリル発展計画」は、2016年から2020年までの第1段階と、2021年から2025年までの第2段階とに分けて実施される。第1段階は集中的なインフラや投資環境の整備を実施する段階と位置付けられており、予算支出も2020年までの第1段階に集中している（表1）。一方、第2段階は、第1段階の発展及び維持を図る段階であり、支出額も毎年約46億ルーブルで固定される計画である。

表1 「2025年までのクリル発展計画」の各年度支出予定（単位：100万ルーブル）

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
連邦政府予算	3,922.7	4,506.6	6,218.5	4,562.2	2,215.1	1,582.2	1,582.2	1,582.2	1,582.2	1,582.2
サハリン州政府予算	3,367.0	3,289.9	4,673.0	4,315.1	3,343.0	2,257.4	2,257.4	2,257.4	2,257.4	2,257.4
民間出資	1,269.5	1,130.5	940.6	771.3	764.2	761.9	761.9	761.9	761.9	761.9
合計	8,559.2	8,927.0	11,832.1	9,648.6	6,322.3	4,601.5	4,601.5	4,601.5	4,601.5	4,601.5

（出典）ロシア連邦政府の「2025年までのクリル発展計画」ポータルサイト
<http://fcp.economy.gov.ru/cgi-bin/cis/fcp.cgi/Fcp/ViewFcp/View/2016/444/> に基づいて筆者作成

具体的な達成目標については、26項目の数値目標が掲げられている。このうち、特に重要と考えられるものについて次の表2にまとめた。

表2 「2025年までのクリル発展計画」の主要達成目標

	2015年	2025年
定住人口	1万9658人	2万4390人
固定資本投資額	33億2000万ルーブル	59億2840万ルーブル
人口1人当たりの固定資本投資額	16万8000ルーブル	24万3100ルーブル
クリル列島における年間税収額	9億9512万ルーブル	18億5120万ルーブル
港湾設備の全長（埠頭及び護岸部の合計）の増加率	147m/年	1475m/年
人員輸送数	5万3720人	7万520人
水産加工業出荷額	56億9000万ルーブル	81億2000万ルーブル
革新的技術を使用して生産される製品の割合	-	10%
人口1人当たりの発電量	8900kWh/年	1万2000kWh/年
択捉、国後及び色丹島における光ファイバーによるインターネット通信速度	-	40Gb/秒
国内観光旅行客数	2万7000人	7万人

（出典）表1に同じ

以上のように、インフラ整備や産業振興を促進し、定住人口の増加を図ることが「2025年までのクリル発展計画」の主眼であると考えられる。また、ロシア政府は北方領土における観光産業の育成を重視してきたが、「2025年までのクリル発展計画」では、ロシア人観光客を現在よりも約3倍に増やすとしている点が注目される。

注（インターネット情報は2015年10月19日現在である。）

(1) Постановление Правительства Российской Федерации от 04.08.2015 N 793. "Об утверждении федеральной целевой программы "Социально-экономическое развитие Курильских островов (Сахалинская область) на 2016 - 2025 годы" <<http://publication.pravo.gov.ru/Document/View/0001201508100025?index=2&rangeSize=1>>

(2) 以下、1ルーブルは約1.8円（2015年10月分報告省令レート）として計算する。